

## 第6章 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進

### 1 市民、事業者、行政の協働の仕組みづくり

#### (1) ながの環境パートナーシップ会議の運営

ながの環境パートナーシップ会議は、市民・事業者・行政の三者が協働して、環境共生のまちづくりを進めるための組織として、平成13年6月に発足しました。「Think Globally , Act Locally」の理念のもとに『アジェンダ21ながの-環境行動計画-』を推進しています。

##### ①『アジェンダ21ながの-環境行動計画-』

ながの環境パートナーシップ会議では、アジェンダ21（持続的発展が可能な社会実現のための人類の行動計画）が、地方自治体に対して取組を求めているローカルアジェンダとして、平成15年3月に『アジェンダ21ながの-環境行動計画-』を策定しました。この計画は、長野市環境基本計画の実行計画としての意味も持っており、本市の環境ビジョン、28の具体的な行動計画（プロジェクト）、環境課題の分析、推進体制・進行管理等が記載されています。

平成18年度には、更なる展開のため、重点的に進める行動計画（プロジェクト）の選定、新たな行動計画（プロジェクト）の追加等の見直しを行い、「2007年度版プロジェクト」としてまとめました。その後、環境に関する諸課題が大きく変化してきていることから平成25年度に再度の改定を行い、「アジェンダ21ながの-環境行動計画-2013」を策定しました。

アジェンダ21ながの-環境行動計画-2013策定後は、本会の活動も順調に推移しているものの目標に未だ至っていないものも散見されています。また、地球温暖化問題等を発端に世界情勢の流れが変化してきました。

このような状況と第二次環境基本計画後期計画の策定を受け、アジェンダ21ながのを継続的に進めるとともに、同後期計画と整合を図り世界情勢の動向を踏まえながら、現行アジェンダ21ながのを継承し目標値の再設定などの時点修正を行い、アジェンダ21ながの-環境行動計画-2018を策定しました。

平成30年度は、若槻地区田中で桜公園作りを推進力に里山づくりを行うプロジェクトチームが新たに加わり12のプロジェクトチームが行動計画（プロジェクト）の推進に取り組んだ他、プロジェクトサポーター制度に伴う事業者との連携など、新たな協働連携による環境保全活動を展開しました。

##### ②総会、理事会、プロジェクトチームミーティングの開催

平成30年度は、ながの環境パートナーシップ会議総会において、活動方針、予算等の決定を受け、ながの環境パートナーシップ会議全体の活動を企画・運営する理事会をプロジェクトチームリーダーとの合同会議を含めて13回開催しました。

また、各プロジェクトチームでは、チームミーティングを開催し、「理想の街」の実現に向けて、市民等の参加を呼び掛けたイベントや講座などの行動に取り組みました。

### ③イベント等への参加

フードドライブや信州子ども応援ドライブに賛同し、食品や生活用品等の寄附を行うなどの協力を行ったほか、アレチウリの駆除活動、ポイ捨て防止条例の周知・啓発活動などに参加協力し、本会の活動の拡大と活性化を図るとともに、本会の活動をアピールしました。

### ④プロジェクトサポーター制度

現在5つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

平成30年度中、新たに1つのマッチングを行うことができました。引き続き、事業者との協働体制による環境活動を推進していきます。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

#### 【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名	主な協働事業内容
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合	夏、秋の収穫祭へ組合員が参加
子どもの環境学習支援	直富商事株式会社	国際ユース環境会議へ社員を講師として派遣
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社	桜の育苗事業に人的等の支援
ぽんすけ育成	信陽食品株式会社	自然観察会へ食品提供
生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）	株式会社公害技術センター	水質調査事業の人的等の支援

### ⑤諸団体等と連携

環境保全活動を将来の世代に伝え、協働するきっかけとするため「第8回ながの環境団体大集合」を開催しました。「私たちの地球環境と未来ーこれからの活動とSDGsー」をテーマに、環境活動に取り組んでいる団体や事業者などがSDGsを理解し合える場を設けるとともに、基調講演会・分科会・ポスターセッション等を実施し、参加者それぞれが今後どんな活動を行っていくべきなのか考える機会となりました。

ながの環境パートナーシップ会議 推進中の行動計画（プロジェクト）

No.	プロジェクト名	主な目標	主な活動
1	聖山自然復元プロジェクト	大岡聖山パノラマスキー場の跡地を、地域の環境に適合した植生に復元し、伝統的土地利用を考慮しながらCO <sub>2</sub> 吸収源の拡大と、ボランティアによるネットワークを構築する。	諸事情により計画していた現場での活動はできなかったが、山の日イベントに協力し、多くの子どもたちに活動内容を説明することができた。
2	市民の森づくりプロジェクト	長野市には手入れされた里山と多様な動植物が暮らす豊かな森がある。この里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるようにする。	市民の森（ボブスレー・リ्यूージュパーク内）を定期的に整備し、きのこ駒打体験、かんじき体験会等を開催した。また、趣味の林業講座の開催や環境子どもサミットなど市が主催するイベントに協力した。
3	生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト	清らかな水が流れ、多くの生き物が息づいている街を目指す。	平成30年度は休会中であったが、令和元年度から再開予定。
4	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	生ごみの減量化・再資源化に取り組み有効活用され、生ごみの大半がリサイクルされ、可燃ごみが減少しているまちを目指す。	キッズ生ごみ農園クラブを創設してから3年が経過。生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫し、夏と秋に収穫祭を開催したほか、生ごみと野菜の交換市を毎月定期的に開催、朝市で野菜の販売もできた。また、各種イベントに参加し、啓発活動を実施した。
5	レジ袋使用削減プロジェクト	買い物袋（マイバッグ）を持参する意識を定着させ、資源を大切にしている街を目指す。	啓発ツールのパンフレットを長野市内の全小学校に配布しました。なお、これらの活動が実りマイバッグ持参率が3年連続で60%を超えた（H30年度67.5%）。
6	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	再生可能エネルギーである太陽光を活用した持続可能で活力ある街を目指す。	諸事情により計画していた現場での活動はできなかった。令和元年度から活動再開予定。
7	ながのカーボンオフセットプロジェクト	市民・団体・事業者一人ひとりが、生活や活動に伴う環境負荷を自覚し、環境に優しい社会構築への協働を目指す。	事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO <sub>2</sub> 排出権）の制度設計を予定していたが、具体的な活動の展開には至らなかった。
8	子どもの環境学習支援プロジェクト	子どもの環境への関心を高めるため、環境学習や活動を支援する。	国際ユース環境会議実行委員会に参画し、国際ユース環境会議を開催し、英語によるコミュニケーションを図りながらテーマである「2030年の長野の環境と生活」を学んだ。
9	小生物の育成環境保全プロジェクト	身近な自然環境を守り後世に残すために、小生物も生息できる豊かな自然環境の保全を目指す。	住民自治協議会等と協働してオオムラサキ繁殖地の計画的な保全活動を行うとともに、環境学習等の一環として観察会を実施した。また、オオムラサキ繁殖地の整備を実施したことにより、多くの幼虫を確認することができた。

10	ぼんすけ育成プロジェクト	絶滅危惧種であるぼんすけ（シナイモツゴ）をシンボルとして、里山の役割と現状を市街地住民に知ってもらい、里山と市街地の市民が保全目標を共有できる街を目指す。	ぼんすけ（シナイモツゴ）達が住むすばらしい里山の保全・再生を目指して、チーム自ら稲作と林檎の栽培を開始し「ぼんすけブランド」として販売した。また、他団体等の協働によるため池の保全活動等を行うなどぼんすけを含む里山の保全活動が展開できた。
11	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	浅川地区住民自治協議会のまちづくり計画に位置している「ゴマシジミの保護・育成」を通して里山の整備、自然環境の保全の大切さを学んでいくため継続的な活動を行う。	ゴマシジミの生息数が少ないため、現状維持に傾注した。具体的には、生息地内の草刈・間伐、捕獲禁止の立て看板の作成・設置、生息地内のパトロール・注意喚起、ワレモコウの育苗・植栽・保護などを実施した。また、ゴマシジミの一生を描いた紙芝居を啓発活動として各地で上演した。
12	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合う地域・街を目指す。	「田中桜公園」の手入れ作業を行い、公園の看板を作り上げた。「田中桜公園祭り」で看板のお披露目のセレモニーを行うことができた。

## 2 環境教育及び環境学習の推進

地球温暖化などの環境問題に関するさまざまな報道や自治体などのさまざまな主体の取組により、日常生活においても環境問題に対する意識が徐々に芽生え始めています。この芽を育て、環境負荷の少ないライフスタイルを広げるためには、市民一人ひとりの認識・理解を深めることが必要であり、そのためには、学校や家庭・地域・職場などにおいて環境教育・環境学習を総合的に推進することが重要となります。

本市では、教育機関や環境保全団体、ボランティア団体などと協働で、次世代を担う子どもたちへの環境教育を中心にさまざまな事業を実施しました。

### (1) 長野市環境学習会

#### ①自然・水環境の学習会

『飯綱高原森林博物館・大谷地湿原での動植物観察会』や川や水に親しんで河川浄化の意識を高めるため、水生生物調査体験として『夏の川遊び』を実施しました。

また、山の日イベントとして、「山の日登山」も実施しました。

・『飯綱高原森林博物館・大谷地湿原での動植物観察会』

実施日 : 平成30年6月23日(土)  
場 所 : 飯綱 大谷地湿原と森林博物館  
参加者 : 45名  
内 容 : 動植物観察会とモリアオガエルの卵塊数調査

・『夏の川遊び 1』

実施日 : 平成30年7月28日(土)  
場 所 : 長野市松代町 蛭川・関屋川公園  
参加者 : 50名  
講 師 : 長野県環境保全研究所 北野研究員  
内 容 : 川の様子調べ、水生生物調査

・『夏の川遊び 2』

実施日 : 平成30年8月3日(金)  
場 所 : 長野市松代町 蛭川・関屋川公園  
参加者 : 65名  
講 師 : 戸隠地質化石博物館 古賀研究員  
内 容 : 川の様子調べ、水生生物調査

・『山の日登山 大岡聖山』

実施日 : 平成30年8月11日(土・祝)  
場 所 : 大岡聖山  
参加者 : 51名  
協 力 : ながの環境パートナーシップ会議、長野市地球温暖化防止活動推進センター  
内 容 : 聖山登山、木工クラフト体験及びジビエ料理の試食

## ②大気環境の学習会

近年問題とされている「光害」や「大気」について関心を持ち、大気環境の保全意識を高めるため、星空の観察を行いました。

・『<sup>ひかりがい</sup>光害抑制イベント 夜のプラネタリウムと天体観測』

実施日 : 平成30年11月24日(土)  
場 所 : 長野市立博物館  
参加者 : 41名  
講 師 : 長野市立博物館学芸員  
内 容 : ①講 義 光害について、プラネタリウム鑑賞  
②観 察 星空の観察

### ③地球温暖化防止学習会

「自然エネルギーってすごい！スーパーソーラーカーをつくろう！」と題し、地球温暖化防止活動推進センターと共催で開催。地球温暖化や自然エネルギーについて学習しました。

・『自然エネルギーってすごい！スーパーソーラーカーを作ろう！』	
〈長野市地球温暖化防止活動推進センター共催事業〉	
実施日	：平成30年11月18日（日）
場 所	：長野市芸術館展示サロン、市民交流スペース
参加者	：213名
講 師	：長野工業高等専門学校教授、地球温暖化防止活動推進員
内 容	：親子でスーパーソーラーカー作り 体験・展示コーナー、ソルガム試食

### (2) こどもエコクラブの活動支援

こどもエコクラブは、平成7年度に始まり、現在は公益財団法人日本環境協会が主体となり、自治体や関係団体が連携して、子どもたちの学習や活動を支援するクラブです。

○長野市におけるこどもエコクラブ登録数の経年変化

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
クラブ数	15	11	9	6	2	2
会 員 数	422	324	329	284	71	66

### (3) 第23回長野市環境こどもサミット

日頃から環境学習や環境活動に取り組む子どもたちが、その成果を発表したり、意見交換をしたりする機会として、実行委員会の主催で平成8年度から開催しています。平成21年度には、それまでの「長野市環境こども会議」から「長野市環境こどもサミット」に名称を変え、更なる活動の活発化を図りました。

今回のサミットは、「命のつながり 支えあう自然 見つめてみよう 生き物たちの世界」をテーマに、講演会と体験ブース等を通じて、具体的な行動を起こす機会となることを目的に開催しました。

第23回 長野市環境こどもサミット	
開催日：平成30年10月28日（日）	
会 場	：長野市リサイクルプラザ 来場者：約300名
主 催	：長野市環境こどもサミット実行委員会 （長野ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト長野、 長野県環境保全協会北信支部、ながの環境パートナーシップ会議、長野市、 長野市教育委員会）
協 力	：わくわくリーダーズながの、長野県環境保全研究所、日本野鳥の会長野支部、 （一社）信州の緑と野鳥を守る会、浅川地区住民自治協議会、NPO法人NPOホットライン 信州
内 容	：・環境学習発表会 湯谷小学校 「中庭の池の浄化」 長沼小学校 「エコキャップ回収・アルミ缶回収」

篠ノ井東小学校	「私たちのゴミ減量大作戦」
広徳中学校	「どんぐりを動物園に届けたい」
・学習会	
身近な生きものと生物多様性	講師:長野県環境保全研究所 自然環境部長 陸 斉氏
市内で出会える鳥たち	講師:日本野鳥の会長野支部・信州の緑と野鳥を守る会 小林 富夫氏
ゴマシジミの一生	講師:浅川地区住民自治協議会ゴマシジミ保護・育成チーム 徳永 昭行氏
・環境標語コンテスト表彰式	
・体験ブース	長野市戸隠地質化石博物館、長野市地球温暖化防止活動推進センター、 市民の森ながの、NPO法人みどりの市民、環境省信越自然環境事務所、 リサイクルプラザ、希少種の会、長野ライオンズクラブ
・コンテスト応募作品の展示、市内の野鳥たちの写真とバードカービングの展示	ほか

#### (4) 指導者養成事業

環境教育・環境学習の指導者の養成と資質の向上を目的に、学校の教職員を対象とした「環境教育教職員研修講座」を開催しています。

平成30年度事業実施内容

・『教職員研修』
平成24年度から市教育委員会（教育センター）と連携し、教職員が求める環境教育研修を開催しています。
実施日 : 平成30年5月22日（火）
場 所 : 清掃センター
参加者 : 教職員10名
講 師 : 清掃センター職員、生活環境課職員、市教育委員会指導主事
内 容 : 小学校4年生の社会見学で学習する「ごみ」の教科学習について、市職員の説明を受けることで、教材研究を深めるとともに環境への意識を高める。

#### (5) 環境に関連した書籍等の活用

6月の環境月間にあわせて、子どもたちを中心に多くの方々に環境に関する書籍に触れてもらう機会を設け、環境問題を身近なものと感じて、関心と理解を深めてもらう契機とすることを目的に、小学校、中学校、公民館、図書館、幼稚園、こども広場、読み聞かせグループに「環境関連図書を集めたコーナー」の設置や「環境に関する読み聞かせ」の実施をお願いしています。

○平成30年度実績

報告書を提出いただいた施設の数	113 施設
「環境関連図書コーナー」の設置施設数	107 施設
「環境関連図書コーナー」の設置数	156 施設
「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施施設数	81 施設

「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施回数	956 回
「環境」に関する取り組みを実施した施設数	87 施設

(6) 「オリジナル手作りマイバッグ教室」及び「ザ・エコクイズラリー」

長野市環境部若手職員 8 名で企画した「オリジナル手作りマイバッグ教室」及び「ザ・エコクイズラリー」を、夏休みにリサイクルプラザで行われた小学生向けの企画「リサイクルラボ」に合わせて開催しました。

○オリジナル手作りマイバッグ教室

日 時：平成 30 年 7 月 29 日（日）～30 日（月）

会 場：リサイクルプラザ

参加者：小学生、保護者 計 29 名

内 容：小学生親子向けの古着を材料にしたマイバッグの製作教室

○ザ・エコクイズラリー

日 時：平成 30 年 7 月 27 日（金）～8 月 2 日（木）

会 場：リサイクルプラザ

参加者：リサイクルラボの参加者 437 名

内 容：環境に関するクイズのスタンプラリーを実施。参加者の中から、抽選で自転車をプレゼントした。